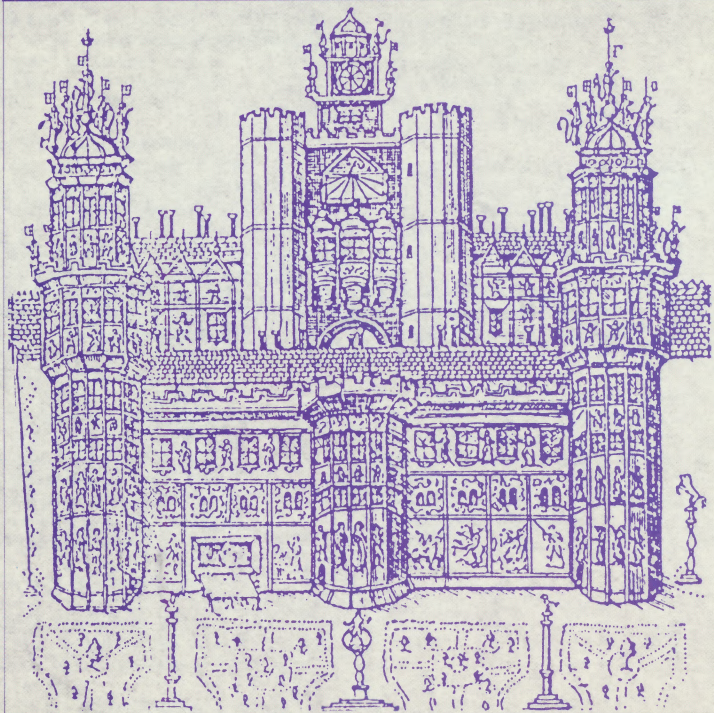


XTC

Demo Tracks

1. The Ballad Of Peter Pumpkinhead (Demo)
2. The Smartest Monkeys (Demo)
3. Down A Peg (Demo)
4. My Bird Performs (Demo)
5. Always Winter Never Christmas (Demo)



The Ballad Of Peter Pumpkinhead (Demo)

Written By Andy Partridge

The Smartest Monkeys (Demo)

Written By Colin Moulding

Down A Peg (Demo)

Written By Colin Moulding

My Bird Performs (Demo)

Written By Colin Moulding

Always Winter Never Christmas (Demo)

Written By Andy Partridge

Published by Virgin Music
(Publishers) Ltd.
The copyright in this recording
is owned by Virgin Records Ltd.
© 1992 Virgin Records Ltd.
© 1992 Virgin Records Ltd.

"These songs were recorded at home on the respective
composers multi-track cassette machines.

Normally, these recordings would not be heard by
anyone other than the three members of XTC and a
record company A&R Director."

92.7.17(92.7) (Y) (X) 税込定価¥1,400 (税抜価格¥1,359)

このディスクは権利者の許諾なく複製等に使用することを禁じます。また、無断でテープその他に録音することは、法律で禁じられています。MADE IN JAPAN BY "VIRGIN JAPAN LTD." ©1992

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



D E M O T R A C K S

The Ballad Of Peter Pumpkinhead

Peter Pumpkinhead came to town
Spreading wisdom and cash around
Fed the starving and housed the poor
Showed the vatican what gold's for

But he made too many enemies
Of the people who would keep us on our knees
Hooray for Peter Pumpkin
Who'll pray for Peter Pumpkinhead?
Oh my!

Peter Pumpkinhead pulled them all
Emptied churches and shopping malls
Where he spoke, it would raise the roof
Peter Pumpkinhead told the truth

But he made too many enemies...

Peter Pumpkinhead put to shame
Governments who would slur his name
Plots and sex scandals failed outright
Peter merely said
Any kind of love is all alright

But the made too many enemies...

Peter Pumpkinhead was too good
Had him nailed to a chunk of wood
The died grinning on live TV
Hanging there he looked a lot like you
And an awful lot like me!

But he made too many enemies...

Hooray for Peter Pumpkin
Who'll pray for Peter Pumpkin
Hooray for Peter Pumpkinhead
Oh my oh my oh!
Don't it make you want to cry oh?

The Smartest Monkeys

Well man created the cardboard box to sleep in it
And man converted the newspaper to a blanket
Well you have to admit that he's come a long way
Since swinging about in the trees

We'er the smartest monkeys
The smartest monkeys
The evidence is all around
Our brains are bigger
This we've found
The smartest monkeys

Well man discovered the park bench can make a transition
And the rubbish tip makes a valid form of nutrition
With discoveries like these
Civilisation agrees
To give itself a pat on the back

We're the smartest monkeys
The evolution's plain to see
We're the dominant of the species
The smartest monkeys

We brought the caveman from the stoneage
To the subways of the modern world
How they pack so many in
Quick call the Guinness Book of Records

We'll have to admit...
We're the smartest monkeys...

Down A Peg

You took me down, down, down, down a peg

Thank you!

For taking me down a peg, thank you!

It's true,

My position had gone to my head, thank you!

Like some commissioner who has ideas for every station

Or some jumped-up counsellor

Who thinks he's Lord of creation

You took me down, down, down, down a peg

Down, down, down, down a peg

Thank you!

For bringing my feet to the floor, thak you!

It's true,

My head wouldn't go through the door, thank you!

Sometimes this job puts you

So high you forget your roots now

Only my folks see I'm getting too big for my boots now

You took me down, down, down, down a peg

Down, down, down, down a peg

Down, down, down, down a peg

Thank you

For taking me down a peg, thank you!

(You took me down, down, down, down a peg)

It's true,

My position had gone to my head, thank you!

(You took me down, down, down, down a peg)

Thank you!

For taking me down a peg, thank you!

My Bird Performs

Fine art never moved my soul

No vintage wine designer clothes

But my world shakes for me

My bird sings sweetly

A different kind of tinsel

Decorates my tree

Yes my bird performs

A thousand Cheshire cats

Grin inside of me

Yes my bird performs

There she goes

Shakespeare's sonnets leave me cold

The drama stage and the high brow prose

But my world shakes for me

My bird sings sweetly

The brightest fireworks

Are lighting up my sky

Yes my bird performs

The cage is open

But she's no desire to fly

'Cause my bird performs

There she goes

And you keep saying what you got

You keep saying what you got

Look out!

Always Winter Never Christmas

Always winter, but never Christmas

You won't open your heart so kiss someday

How can I let you know?

Always Easter, but never a killing

Crucify me, I just don't call this living

How can I let you know?

Can't you hear the bells ringing out?

Can't you hear the fishmonger shout?

That the way to live is celebrate and give

Don't stop at being!

Always winter, but never Christmas

Always again, but never a birthday

Told your last joke and threw your life away

How can I let you know?

Always turkey-time, never Thanksgiving

Share some Noel, don't just sit there sitting

How can I let you know?

Can't you read the words upon the wall?

Can't you hear the butcher-boy's call?

That we need to share love between each pair

Don't stop at being!

Always winter, but never Christmas

I am ready if you'd only step down from your tree

From your present into some undone future with me

Always winter, but never Christmas

Always circumstance, but never vespers

How can I let you know?

Can't you hear the bells ringing out?

Can't you hear the fishmonger shout?

That the way to live is celebrate and give

That we need to share love between each pair

Warm it up!

Always winter, but never Christmas

Always winter, but never Christmas...

ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンブキンヘッド

カボチャ頭のピーターが街にやって来た
教えを説きながらお金をかき集め
ひもじい人に食事を与え、貧しい人には住居を与えてる
純真な パチカン精神ってのを見せてくれたのさ

でも彼は 敵を作ることも多いんだ
それは 僕たちを跪かせようとかかりしてる奴らさ
バンザイ、ピーター・パンブキン
誰がカボチャ頭のピーターなんて崇めるもんかだって？
おや まあ！

カボチャ頭のピーターは民衆を引きつけた
教会もショッピング街も 人がいなくなっちゃう始末
彼がしゃべると どこでもドットワクのさ
カボチャ頭のピーターは 真理を説いてたからね

でも彼は 敵を作ることも多いんだ

カボチャ頭のピーターは脅威の存在になり始めた
政府は 彼を中傷しようと計画する
でも陰謀もセックス・スキャンダルも 完璧に失敗さ
ピーターは こう言ってるだけなのに
愛の寛大さを持つば すべてがうまくいく、とね

でも彼は 敵を作ることも多いんだ

カボチャ頭のピーターは立派すぎたんだ
結局 彼は木に釘で打ちつけられちゃったってワケ
微笑みながらの彼の死は TVで生中継されたよ
吊されたその姿、僕は 僕らの運命を見た気がしたぜ
いつわれわれだって
その すさまじい運命が襲いかかるかもしれないんだ！

でも彼は 敵を作ることも多いんだ

バンザイ、ピーター・パンブキン
誰もピーター・パンブキンなんて崇めてなかったけど
頑張ったんだぜ カボチャ頭のピーターは
おや まあ おや まあ おや！
みんなだって 泣きたくなんてないよな、だろ？

ザ・スマーテスト・モンキーズ

人は眠るためのボール紙の箱を作り
そして人は、新聞紙を毛布にかえた
僕は彼が、木にぶら下がっていた時代から
長い道程をやってきたことを認めなくちゃいけない

*
僕らはもともと賢い猿 もっとも利口な猿さ
証拠はそこら中にある
僕らの脳のほうが大きいことに
そのことに僕らは気がついたんだ
もともと賢い猿だということにね

人は、公園のベンチは変化ばいけいもので
くだらない助言も
有効な栄養になるのだということを発見した
そういう発見を手に
自画自賛するために
文明諸国は和解するのさ

* *
僕らはもともと賢い猿 もっとも利口な猿なのさ
進化は一目瞭然
僕らは人類の優占種 もっとも利口な猿なんだ

僕らはもともと賢い猿なのさ……

僕らは穴居人を
石器時代から、現代社会の地下鉄へ連れ出した
どれだけたくさん詰め込まれていたかを
すぐにギネス・ブックに電話して知らせよう

彼がやってきたのは 木にぶら下がっていた
遠い昔からだと認めなくちゃいけないよ

(* Repeat)
(* * Repeat)
(* Repeat)

ダウン・ア・ベグ

キミは僕を どんどんどんん言い負かした

サンキュー！
言い負かしてくれて ありがとう！
ホントさ
すっかり立場を無くさせてくれて ありがとう！
まるでキミはいろいろな意見を裁くコミッションナーか
世話をやくカウンセラーにでもなったみたいだね
キミは僕を どんどんどんん言い負かした
どんどんどんん言い負かした

サンキュー！
足をすくってくれて ありがとう！
ホントさ
みごと自閉症ぎみにさせてくれて ありがとう！
今の仕事に 僕はちよんと疲れてるってんだらう
うめばれてるみたいに映ってるってんだらう
キミは僕を どんどんどんん言い負かした
どんどんどんん言い負かした
どんどんどんん言い負かした

サンキュー！
言い負かしてくれて ありがとう！
(キミは僕を どんどんどんん言い負かした)
ホントさ
すっかり立場を無くさせてくれて ありがとう！
(キミは僕を どんどんどんん言い負かした)
サンキュー！
言い負かしてくれて ありがとう！

マイ・バード・パフォーマンス

美術品になって 僕は魂を動かされないよ
いくらヴィンテージ・ワインでキメこもうともね
自分の世界にしか 僕は興味が無いんだ
僕の鳥なら 美しい声で歌ってくれる
いろいろな種類のピカピカと光る安物で
自分の木をゴテゴテと飾る
そう、僕の鳥のパフォーマンスの始まりさ
1000匹ものチェシャ猫⁽¹⁾たちが
僕の中で薄笑いをしてる
そう、僕の鳥のパフォーマンスの始まりさ
彼女はやるぜ

シェークスピアのソネットなんて 面白くもないさ
演劇の舞台とか知的ぶった散文詩にもね
自分の世界にしか 僕は興味が無いんだ
僕の鳥なら 美しい声で歌ってくれる
光り輝く火花が
僕の空に打ち上がるようだ
そう、僕の鳥のパフォーマンスの始まりさ
鳥かごを開けたって
彼女は飛びたとうとなんてしないよ
だって 彼女はパフォーマンスがしたいから
彼女はやるぜ

だから 君も思ったことを言いつづけなよ
思ったことは 言いつづけるべきさ
気をつけながらね！

(1) ルイス・キャロル作「不思議の国のアリス」に登場する
奇妙なふるまいの魔法猫。

オールウェイズ・ウィンター・ネヴァー・クリスマス

冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ
少しキミは 心をかたくに閉じすぎているんだ
わかってくれるかい？
復活祭だからって殺人を犯していいわけじゃないさ
いくら非難したって 僕はこの考えを捨てないよ
わかってくれるかい？

電話のベルが聞こえるだろう？
魚屋だって叫びまくってるだろう？
生きてること自体が 祝賀であり贈り物なんだ
しっかりしろよ！
冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ

老化が進もうと誕生日が来ないってわけじゃないよ
ジョークでも言って 最後まで人生を楽しもうぜ
わかってくれるかい？
七面鳥があれば感謝祭になるってのもないだろう
クリスマスの頃だからってそれに従う必要はないよ
わかってくれるかい？

前向きなこの言葉が聞こえるだろう？
肉屋の少年だって張り切ってるだろう？
われわれには それぞれに似合った愛し方が必要さ
しっかりしろよ！
冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ

僕は もしもキミが自分の理想を捨てて
おぼつかない未来を歩む気にいるんだとしたら
とことんそれに つきあってあげるつもりだけどね

冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ
祈っても^o宵を寿(ことほ)ぐとは限らないんだ
わかってくれるかい？

電話のベルが聞こえるだろう？
魚屋だって叫びまくってるだろう？
生きてること自体が 祝賀であり贈り物なんだ
われわれには それぞれに似合った愛し方が必要さ
元気だせて！

冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ
冬だからってクリスマスを祝う必要なんてないのさ……

(対訳：1、2、4、青柳つとむ 3、5、浅見 和恵
/made in Heaven)

DEMO TRACKS

XTC

XTC10枚目のオリジナル・アルバム「ノンサッチ」がいかにも優れたポップ・アルバムか、今更説明する必要もあるまい。日本国内では過去最高の快調なセールスを未だ更新し続けているのだが、マニアを喜ばせる手管を完全に熟知しているアンディ・パートリッジ先生が、今回日本の熱烈なXTCマニアの為に企画してくれたのが、本作「デモ・トラックス」である。

既に「ノンサッチ」からの第1弾シングル英国盤「ザ・ディスアポインテッド」を購入された方はお気付きだろうが、「ザ・スマーテスト・モンキーズ」のデモ・ヴァージョンがボーナス・トラックとして収録されていた。となると当然、「他の収録曲のデモも存在するはずだ」と色めき立つのがマニア魂というもので——案の定あるわあるわ、というわけで、本作のような「ノンサッチ」のデモ・ヴァージョンを5曲集めたミニ・アルバムが、めでたく今回誕生した次第だ。

ここからは少々複雑な話になるのだが、そもそもはアンディ先生が今回プロモーション・オンリーの限定CDを英国で制作した事に端を発する。まずはその収録曲を掲げよう。

- ①ザ・バラッド・オブ・ピーター・バンブー・キンヘッド(デモ)
- ②マイ・バード・パフォーマス(デモ)
- ③ディア・マダム・バーナム(デモ)
- ④ハンブル・デイズ(デモ)
- ⑤ザ・スマーテスト・モンキーズ(デモ)

そしてこのCDは「GRIBOUILLAGE」と命名されて、日本同様XTCに非常に積極的なヴァージン・フランスからそのままリリースされた。「ノンサッチ」のケースに特殊印刷されていたあの金色の城の絵を、厚紙製の素朴なジャケットに青焼きのまま刷り込んでるとこなんか、なかなか手が込んでいる。レアっぽい。無造作にホチキスで綴じ込まれた3人のミニ・ピンナップには笑えるけれども。

と同時に、ヴァージン・ジャパンからは本作がリリースされるわけだが、アンディ先生自身の選曲によって、フランス盤と2曲差し替えられているのだ。前述した③④が収録されていない分、「ダウン・ア・ベグ」と「オールウェイズ・ウィンター・ネヴァー・クリスマス」のデモが、この日本盤に収められた。両者にオリジナリティーを意図的に持たせてくれた配慮には感謝するが、結局本作を買って

もフランス盤も買わねば、現段階でその存在が確認されてる「ノンサッチ」デモ・ヴァージョン計7曲は揃わない、という事だ。よく考えると、ありがた迷惑な話である。

ここで気をつけねばならんのは、「ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンクインヘッド」と「マイ・バード・パフォーマス」の両デモ・ヴァージョンだろう。

英国での第2弾シングルはアルバム・ヴァージョンの「ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンクインヘッド」なのだが、実はこのシングル、2種類同時にリリースされる。収録曲が異なるのである。

●品番VSCDT1415

- ①ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンクインヘッド
- ②ウォー・ダンス
- ③ダウン・ア・ペグ
- ④ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンクインヘッド(デモ)

●品番VSCDG1415

- ①ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンクインヘッド
- ②ウォー・ダンス

③マイ・バード・パフォーマス(デモ)

④オールウェイズ・ウィンター・ネヴァー・クリスマス

これまた人騒がせなリリース形態ではないか。デモの両曲共、本作に収録されてるから気にしなくてもいいのだけれど、超マニアの方は押さえといた方がいいと思います。何だかXTCのファンジンみたいな原稿になってきたな。何にしても貴重な、日本のファンの為に作られた作品だという事だ、この「デモ・トラックス」は。

内容と経緯をざっと説明したが、この作品が単なるマニア用のレア編集盤と誤解されては困る。XTCにとって、こうしたデモ・ヴァージョンはアルバム収録テイク以上に興味深い宝の宝庫なのだから。

過去にも、今回のようにデモが正式リリースされた事があった。英盤12インチ・シングル「ザ・ミーティング・プレイス(87年1月)」に「テロリズム」「レッツ・メイク・ア・デン」「ファインド・ザ・フォックス」「ザ・トラブルズ」の4曲。英盤CDシングル「メイヤー・オブ・シンプルトン(89年4月)」に、「リヴィング・イン・ア・ハウントッド・ハート」「ザ・

グッド・シングス」の2曲。そして英盤CDシングル「キング・フォー・ア・デイ(89年4月)」に、「マイ・パイント・ヒーローズ」「スケルトン」の2曲。各々、ホーム・デモ・ヴァージョンである。

友人が居ない、趣味が音楽以外に無い、という笑えない理由と、レコーディングのスタジオ代節約する為にアレンジを事前に完成させておくという実務的な理由から、XTCには多数のデモ・テープが存在する。先程掲げた過去に正式発表されたデモ・トラックは、いずれも本チャンが存在しない未発表曲ばかりなわけだが、アンディ先生達の性格を考えると、間違い無くアルバム収録曲のデモ・ヴァージョンは存在するはずなのだ。

「歴史に残る曲を作る、バリバリに恰好良い超人になりたいノ(笑)」。

こんな小学生紙一重の野望を抱いてる「ポップ・ミュージックの達人」アンディ・パートリッジの、作品が出来上がるまでのプロセスを知るには、曲の原型がハッキリとしてしかもその後どのような装飾が成されたかが一目瞭然な、デモが必要なのである。そして今回、「ノンサッチ」のデモを聴いた事によっ

て、かなり納得出来る部分は少なからずあったはずだ。

非常にシンプルでありながら、そのポップ性に関しては完成品に全く遜色が無い。もっと言えば、これはこれで充分商業的にも通用する出来なのだから、怖い。「ノンサッチ」全編を包んでた優しい感触は確かに無いが、あの辛辣な詞には「順当」なハードさとシビアさがデモにはある。XTCプロテスト・ヴァージョンとまで言うとも、大袈裟かもしれないけれど。

それにしても今回に限ってアルバムの元ネタをバラすような行為に出たのは、何故なのだろうか。答えは一つ——プロデューサーに起用したガス・ダッジョンが、如何に「ノンサッチ」に貢献してないか、という事を業界関係者だけにでも知らしめたかったに違いない。「ジョンブル」パートリッジらしい、なかなかシニカルな仕打ちである。

「ノンサッチ」国内盤を買われた方はご存知だと思うが、私が書いたライナーの文脈はざっと次の通りになる。

これまで、アンディ・パートリッジという男はプロデューサーを逆にプロデュースしてしまう、掟破りの方法論を一貫して徹してきた。

その観点から言うと、今回のエルトン・ジョンの全盛期を確立したガス・ダッジョン起用は、少々古臭いながらも王道白人ポップの手法を導入しようとしたのに違いない。パートリッジこそ白人オリジナルのポップ性を追求出来る最後の人なんだから——この原稿を書いて1週間後、インタヴューしたら悉く裏切られてしまった。はいはいどうせ私は東洋の小さい島国のケチな野郎でございます。

「ガスはアレンジも何も演らなかつた。僕の印象では、ガスはただ何となくいつもそこに居るだけだったな。昔々の逸話で大変愉しませてくれるんだが、口を塞いで「仕事を進めさせてくれ」って言わなきゃならなかつた(笑)。事ある毎に「エルトンならこうしない」しか言わないし。一時は本当に、ガスが我々と音楽との間の障壁になりそうな気配がして、危険だったんだよ。でも彼が居たにも拘らずまともなアルバムに仕上がったんだから、大したものだと言ってくれよ(笑)。えてして、最も素晴らしいものは非常な難産を経て生まれてくるようだからね」。

おお。結果的には、バリー・ハモンドという若いエンジニアの功績によって、「ノンサッ

チ」はかくも素晴らしい作品に仕上がったらしい。何故、ダッジョンが駄目だったのか考えてみたのだが、過去XTCが携わったプロデューサー達は揃ってエンジニアやミキサー出身なのだ。スティーヴ・リリーホワイトにせよ、ヒュー・パジャムにせよ、スティーヴ・ナイにせよ、デヴィッド・ロードにせよ、パートリッジ先生の頭の中に描かれた青写真を音として具体化する方法論を備えてなければ、共同作業する意味がないわけだ。だからこそ、雰囲気先行型のダッジョンでは意味が無かつたのだろう。うーん、厳しい。

うーん、悲惨なりガス・ダッジョンと私。しかしここまでの依怙地さがないと、こんなに素晴らしいポップ・ミュージックは生まれないのだろうか。音楽って難しい。

〔市川哲史(ロッキングオン)〕

DEMO TRACKS

XTC

デモ・トラックス / XTC

- ① ザ・バラッド・オブ・ピーター・パンブキンヘッド(デモ)
THE BALLAD OF PETER PUMPKINHEAD (DEMO)(4:39)
- ② ザ・スマーテスト・モンキーズ(デモ)
THE SMARTEST MONKEYS (DEMO)(2:56)
- ③ ダウン・ア・ペグ(デモ)
DOWN A PEG (DEMO)(2:32)
- ④ マイ・バード・パフォームス(デモ)
MY BIRD PERFORMS (DEMO)(3:31)
- ⑤ オールウェイズ・ウィンター・ネヴァー・クリスマス(デモ)
ALWAYS WINTER NEVER CHRISTMAS (DEMO)(3:17)

1. & 5. WRITTEN BY ANDY PARTRIDGE
2. 3. & 4. WRITTEN BY COLIN MOULDING

THE COPYRIGHT IN THIS RECORDING IS OWNED BY VIRGIN RECORDS LTD.


DEMO TRACKS

XTC

Virgin

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

VJCP-14044

STEREO 



THE COPYRIGHT IN THIS RECORDING IS OWNED BY
VIRGIN RECORDS LTD.

© 1992 VIRGIN RECORDS LTD.

© 1992 VIRGIN RECORDS LTD.

Virgin
JAPAN

ALL RIGHTS OF THE MANUFACTURER AND OF THE OWNER OF THE RECORDED WORK ARE RESERVED. UNAUTHORIZED PUBLIC PERFORMANCE, BROADCASTING AND COPYING OF THIS DISC PROHIBITED. VIRGIN JAPAN LTD. © 1992